

2025年度 教区教化研修計画概要

総合教化本部長 菊池政和

教区教化テーマ 生活を聞法場に―真宗門徒として―

1、課題と展望

【総合教化本部】

2023年度、2024年度は教化委員会学習会を通じて、「是施陀羅問題」を周知してきた。

2025年度は教区解放運動推進協議会と連携のもと、「是施陀羅問題」推進チームにおいて今後の具体的展開を担っていく。

本部としては、次期の教区教化委員会への引き継ぎを念頭に教化委員会全体の方向性と各部門間の調整の役割を担うという本来の役割を再確認する。

【育成員研修部門】

教師育成と研鑽について、理論（教学）と実践のあり方を常に問いながら計画・実施する。また、発足当初より九州教区は教師陞補対象事業が少ないことが指摘されており、本年度は機会均等の観点からも対象事業の拡充について検討していく。

【青少幼年部門】

2024年度に初めて実施した「子どものつどい」の反省・点検から、「あつめる」教化事業から「あつまる」教化事業への質的転換の必要性を感じた。今年度はこれまでの取り組みの集大成を具体的に表現していく。

【同朋の会推進部門】

同朋会運動の原点でもある、各寺の同朋の会結成という事が具体的な課題となってきた。お寺が学び（聞法）の場であると同時に交流の場として機能するために、今一度、お寺の魅力が各寺門信徒に伝わっていくような表現の工夫が必要であり、その一助となる事業を展開する。

2、次期の総合教化本部に向けて

九州教区として具体的に事業を展開し始めたことで、細やかな教化事業を目指す一方で事業過多が発生するなど、様々な課題が表面化してきた。総合教化本部にはより一層の調整の役割が必要になっていくであろう。また、教師陞補対象事業拡充に関する制度的な調整、各組の教化事業への働きかけ等、様々な方向に向けての役割が求められる。次期の総合教化本部には、より具体的な本部像を構築・共有した上で引き継ぎできるよう今年度は協議を重ねていく。

いよいよ「九州教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」をお迎えする。今年度の第1期法要（鹿児島別院）にはじまり、次年度の第2期法要（佐世保別院）、次々年度の第3期法要（四日市別院）と厳修される。総合教化本部としても、本法要が九州教区全体の法要となるよう更なる教化事業を展開していく。

以 上